

# 令和元年度

## 事業報告書

自 平成31年4月 1日

至 令和 2年3月31日

# I. 青少年活動

日本の将来を担い未来を築く青少年が、健康な身体を養い豊かな感性と高い徳性を磨き、有為な青年に成長することを目的に、“愛と汗の精神”に基づいた自然体験・社会奉仕体験を中心とした青少年健全育成活動の充実を図った。また愛と汗の実践活動として、フィリピン・ゴミ山などの貧困の中で暮らす子供たちへの支援活動や大震災などの被災者に対する支援活動を継続して展開した。

## 1. 子ども自然体験活動

“愛と汗の精神”に基づいた子ども自然体験キャンプを全国的に開催し、大自然の中で障害児を含む異年齢の仲間とともに野営による共同生活をとおして、様々な課題や困難を乗り越え、自主性、協調性、感受性等を育てるなど、次代を担う青少年の心豊かな人間形成を図ることを目的に開催した。

### (1) 夏期子ども自然体験キャンプ

〈別表-1〉

#### ア. 子どもゆめ基金助成活動「子ども自然体験キャンプ」《文部科学省後援》

期 間 7月～9月・11月 <各2泊3日～3泊4日>

開 催 数 6会場（道南ふれあい、桧原湖畔、いばらき、瀬戸内海、鹿児島、沖縄）

\*「道南ふれあい」はクマ出没によるキャンプ場立入禁止のため延期し、9月に2泊3日で開催。

\*「沖縄」は台風接近のため延期し、11月に2泊3日で開催。

スタッフ等 175名

参加者 407名（内、障害児15名）

#### イ. 伊勢青少年研修センター主催「子ども自然体験キャンプ」

期 間 7～8月 <各3泊4日>

開 催 数 3会場（富士山、愛知<新規>、関西）

スタッフ等 114名

参加者 244名

#### ウ. 連合会等組織共催「子ども自然体験キャンプ」

期 間 8月 <各3泊4日>

開 催 数 2会場（友愛、北部九州）

\*「広島いきいき」は台風接近のため中止し、11月に「子どもWAKU×2ひろば」として開催。

スタッフ等 78名

参加者 73名

#### エ. キャンプ主事・事務担当者

キャンプ名	主 事	事務担当者	キャンプ名	主 事	事務担当者
①道南ふれあい	志村 和也	真下 淳一	②桧原湖畔	谷野 涉	市島 寿里
③いばらき	保坂 正志	中野 淳一	④瀬戸内海	板倉 和也	増田 航介
⑤鹿児島	志村 和也	真下 淳一	⑥沖 縄	板倉 和也	保坂 正志
⑦富士山	山崎 政弘	寺岡 賢	⑧愛 知	中山 貴生	寺岡 賢
⑨関 西	山崎 政弘	寺岡 賢			

オ. 子ども自然体験等キャンプ事前調査《子どもゆめ基金助成活動》

キャンプ名	実施日	派遣講師
道南ふれあい	5月22日(水)～24日(金)	志村 和也
いばらき	6月13日(木)～14日(金)	保坂 正志
桧原湖畔	6月10日(月)～12日(水)	青木富造・谷野渉
瀬戸内海	7月 3日(水)～ 5日(金)	板倉 和也
鹿児島	7月 1日(月)～ 2日(火)	志村 和也
沖 縄	7月18日(木)～19日(金)	板倉 和也

カ. 共催キャンプへの講師・スタッフ等派遣

キャンプ名	派遣講師	キャンプ名	予定講師	キャンプ名	派遣講師
友 愛	久世 郁夫	広島いきいき	根岸 秋吉	北部九州	志村 和也

※「広島いきいき」は台風接近のため中止

キ. 印刷物の作成・配布

①子ども自然体験キャンプリーフレット

部 数 31,000部  
体 裁 A4版6頁、4色刷

②子ども自然体験キャンプ報告書

部 数 1,200部  
体 裁 A4版100頁

(2) 子どもわくわく自然体験キャンプ(招待)《子どもゆめ基金助成活動/文部科学省後援》

開催日 8月9日(金)～11日(日・祝) <2泊3日>

開催地 ばんだいふれあいぴあ

キャンプ長 1名(三瓶利正)

炊 事 2名(小松純子、白倉由美)

スタッフ 4名(青木富造、谷野渉<主事>、板倉和也、増田航介<事務担当者>)

参加者 44名(キャンパー34名、リーダー10名)

(3) 冬期子ども自然体験キャンプ

ア. 子ども自然体験スキーキャンプ

《第1回》

開催日 12月26日(木)～30日(月) <4泊5日>

開催地 福島県(ばんだいふれあいぴあ及び箕輪スキー場)

指導者等 8名 指導員 : 高橋源一郎、相田好美<各SAJスキー指導員>

スタッフ : 板倉和也、谷野渉、増田航介

炊事員 : 小長谷貴子、近藤節子、佐藤由佳

参加者 84名(キャンパー60名、リーダー23名、ボランティア1名)

※スキーキャンプリーダー研修会

開催日 12月24日(火)～26日(木) <2泊3日>

スタッフ 2名(谷野渉、増田航介)

参加者 16名

《第2回》 \*新型コロナウイルスの影響で中止

開催日 3月26日(木)～30日(日) <4泊5日>  
 開催地 福島県(ばんだいふれあいぴあ及び箕輪スキー場)  
 指導者等 8名 指導員:高橋源一郎、相田好美<各SAJスキー指導員>  
 スタッフ:板倉和也、谷野渉、増田航介  
 炊事員:小長谷貴子、近藤節子、佐藤由佳

イ. 報告書の作成・配布

部数 100部  
 体裁 A4版

(4) 子ども週末体験活動《子どもゆめ基金助成活動》

〈別表-2〉

自然体験活動や社会奉仕体験活動を実践している高校生・大学生等の青年指導者が集い、専門家や実践者を講師に招き、さまざまな体験活動やその展開方法についての学習をするとともに、新たな視点に立って展開する週末体験活動を模索し実践活動をおこなった。

ア. WAKU×2ボランティアリーダー研修会

開催数 10会場 <各1日～1泊2日>  
 指導者等 13名  
 参加者 151名

イ. 子どもWAKU×2ひろば

開催数 12会場 <各1日～1泊2日>  
 講師 83名(指導者23名、青年指導者60名)  
 参加者 486名

\*2～3月予定の「裏磐梯」と「福岡」は新型コロナウイルスの影響で中止

(5) 東京キラリンウォーク2020《子どもゆめ基金助成活動/文部科学省後援》

\*新型コロナウイルスの影響で中止

期日 令和2年3月21日(土)  
 コース 都内の東京オリンピック競技会場などをめぐる約20km  
 募集人員 小学生・中学生50名、障がい者10名

(6) 夏期少年少女合宿講習会(各地青年会議所等共催) 会場:伊勢青少年研修センター

期日	事業名	参加者
7月23日(火) ～25日(木)	寺子屋伊勢合宿講習会	47名
7月29日(月) ～31日(水)	第48回伊勢少年少女合宿講習会	98名
8月2日(金) 4日(日)	第29回岸和田少年少女サマースクール	71名
8月27日(火) 29日(木)	檀原ジュニアサマースクール	101名
合計	4回	317名
前年度	4回	278名

### (7) 第21回40kmナイトウォーク親子の集い

開催日 9月7日(土)～8日(日) <2日>  
会場 伊勢青少年研修センター他  
対象 小学3年生以上の子どもと大人  
参加者 110名

## 2. 子どもボランティア推進活動

“愛と汗の精神”に根ざした様々なボランティア活動を実践することにより、人のため、社会のために行動することの素晴らしさや真の喜びを体感した。お互いに理解し合い、分かち合い、豊かな感性を磨き、思いやる心や心豊かな人間形成に寄与する活動をおこなった。

### (1) 第5回SYDきらめきメッセージ全国コンクール《文部科学省後援》

青少年が体験したきらめき、ブレイクスルー(壁を乗り越え前進すること)、自分の中の奇跡…、そこから生まれた思いやメッセージを発表することにより、同世代のやる気、元気を育てることを目的に開催した。

応募総数3,940点の中から事前審査で13点が選ばれ、全国コンクールで12名が発表し、最終審査の結果、下記受賞者が決まった。

開催日 令和2年2月23日(日) 12時40分～14時

会場 SYDホール

審査委員 8名：御手洗康、山崎一紀、安仁屋聡、古賀克彦、石田博嗣、両家優子、  
宝井琴柑、青木富造 ※欠席：明石要一、田中浩史

受賞者 12名

- ・文部科学大臣賞 1名 内田 啓介(香川県・中3)
- ・理事長賞 1名 西江 樹(沖縄県・高3)
- ・優秀賞 3名 福野 光莉(福井県・小4)  
渡辺 美愛(愛知県・中3)  
瀬谷 愛梨(福島県・高2)
- ・きらめき賞 7名 福地 美咲(茨城県・小4)、 萩原はるか(埼玉県・小6)  
中谷 愛海(東京都・中3)、 稲葉 紫真(兵庫県・中3)  
長壁 楓華(群馬県・高2)、 東江 棕佑(沖縄県・大2)  
三浦彩由香(東京都・大3)

### (2) 幸せの種まきキャンペーン《文部科学省後援》

地域、学校(生徒会・ボランティア部)、PTA等と連携を図り、これまで実践しているフィリピン等での支援活動を紹介した。ストリートチルドレンやスカベンジャーなど「貧困と共に生きる子どもたち」の現状を理解することにより、ボランティア精神を涵養し、他者への思いやり、命の大切さ、親や周りの人へ感謝など、青少年の豊かな心を育むことを目的に開催した。

#### ア. 幸せの種まきキャンペーン「出前講座」

〈別表-3〉

開催数 52会場

派遣講師 各会場に2名(青木富造、山口千恵子)

体験発表者 5会場に各1名(増田航介、水野杏奈、島袋桃子、山口栞乃、平松倫太郎)

参加者 7,307名

\*新型コロナウイルスの影響で3月に予定していた3会場が中止

#### イ.パンフレットの作成・配布

部 数 5,000部  
体 裁 A4版8頁、4色刷

### (3) 東日本大震災被災地訪問青少年ふれあいボランティア

《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》 **〈別表-4〉**

被災者が暮らす復興住宅等を訪問し、手作りのカレーやコーヒー等を提供するなかで、協力し合い、話し合い、喜びを分かち合う活動を行った。また、ゲームや遊びにより子どもたちの歓声がこだまするような至福の時間を共有する活動をおこない、青少年がボランティア活動の真の喜びを体感し、思いやる心や豊かな人間性・社会性を高め、自ら考え・行動する力を育むことを目的に開催した。

期 間 5月～令和2年1月 <各2泊3日>

開催数 5回

活動場所 宮城県内の復興住宅

スタッフ 26名

参加者 89名（リーダー6名、参加者83名）

\*台風接近のため第5回（10月12日～14日）は中止

#### ※「東日本大震災被災地訪問青少年ふれあいボランティア」事前調査

期 日 5月25日(土)～5月26日(日) <1泊2日>

派遣者 青木富造、谷野渉

訪問先 宮城県名取市

### (4) 千葉県災害ボランティア

9月8日の台風15号で被害の大きかった千葉県で、急遽2回のボランティア活動をおこなった。

#### 《第1回》

期 日 9月28日(土)～29日(日) <1泊2日>

活動地 千葉県南房総市

協 力 修養団千葉県連合会

スタッフ 2名（青木富造、板倉和也）

参加者 2名

#### 《第2回》

期 日 10月5日(土)～6日(日) <1泊2日>

活動地 千葉県南房総市

協 力 修養団千葉県連合会

スタッフ 2名（板倉和也、谷野渉）

参加者 5名

### (5) いわき市台風19号災害ボランティア

10月12日に上陸した台風19号で大きな被害を受けたいわき市でボランティア活動をおこなった。

期 日 11月16日(土)～17日(日) <1泊2日>  
活 動 地 福島県いわき市  
ス タ ッ フ 1名(板倉和也)  
参 加 者 5名

**(6) 青年ボランティアゼミナール《子どもゆめ基金助成活動》**

**〈別表-5〉**

期 間 5月～12月 <各回とも18:30～21:00>  
開 催 数 6回  
会 場 SYD会議室  
講 師 7名  
出 席 者 135名

### 3. SYD指導者の養成

自然体験や社会奉仕体験などのさまざまな実践活動を実践し、自ら活動の楽しみや喜びを体得するとともに、子どもたちを安全に導きながら体験活動を積極的に推進するための知識や技能を修得し、“愛と汗の精神”を日常的に実践するSYD指導者の養成に努めた。

**(1) 全国青年ボランティア・アクション in 福島**

《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

福祉・災害ボランティア活動の心構えや基本的技術を習得し、福祉施設や公共施設、震災で避難生活を余儀なくされている仮設住宅等での社会奉仕体験活動を実践し、社会奉仕体験活動の楽しみや喜びを体得することによりボランティア精神を涵養し、指導者として資質の向上を図った。

**《第1回》**

開 催 日 7月29日(月)～8月3日(土) <5泊6日>  
会 場 ばんだいふれあいぴあ、喜多方市、会津若松市、被災地復興住宅ほか  
講 師 1名：遠藤信幸(町立三春病院ケアワーカー)  
ス タ ッ フ 6名：山崎一紀、青木富造、岩佐加寿子、山口千恵子、板倉和也、谷野渉  
参 加 者 28名(全国の中学生・高校生等)

**《第2回》 \*新型コロナウイルスの影響で中止**

開 催 日 令和2年3月31日(火)～4月5日(日) <5泊6日>  
会 場 ばんだいふれあいぴあ、喜多方市、会津若松市、被災地仮設住宅ほか  
講 師 1名：遠藤信幸(町立三春病院ケアワーカー)  
ス タ ッ フ 6名：山崎一紀、岩佐加寿子、山口千恵子、板倉和也、谷野渉

**※「全国青年ボランティア・アクション in 福島」事前調査**

期 日 6月10日(月)～12日(水) <2泊3日>  
派 遣 者 青木富造、谷野渉  
訪 問 先 福島県下(喜多方市、会津若松市 他)

**(2) 全国青年ボランティア・フォーラム《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》**

幅広い分野でのボランティア活動についての協議を行い、ボランティアグループの活性化や老壮青の幅広い年代層を取り込んだボランティアを模索し、実践する青

年リーダーの育成を図った。

開催日 1月2日(土)～4日(月・振) <2泊3日>  
会場 国立オリンピック記念青少年総合センター  
特別講師 荒川祐二(小説家)  
指導者等 5名:青木富造、山口千恵子、市島寿里、谷野渉、増田航介  
実行委員 4名:組織の代表者および有志(高校生以上の青年)  
参加者 24名(全国の中学生及び高校生等)

### (3) 全国青年ボランティア・フェスティバル

《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

ボランティア活動や活動の中での気づきや思いを発信する機会として開催し、そこから明るい社会を築くためには、あるいは周りや自分自身を輝かせるために何ができるかを考え、今後の活動の促進を図るための青年リーダーを養成に努めた。

開催日 令和2年2月22日(土)～24日(月・祝) <2泊3日>  
会場 SYDホール及び国立オリンピック記念青少年総合センター  
講師 工藤 良(田川ふれ愛義塾理事長)  
指導者等 7名:山崎一紀、青木富造、山口千恵子、市島寿里、板倉和也、谷野渉、増田航介  
実行委員 5名:組織の代表者および有志(高校生以上の青年)  
参加者 30名(全国の青少年および青少年指導者)

### ★SYD創立114周年記念全国青年フェスティバル来場者

開催日 令和2年2月23日(日) 12時30分～16時00分  
会場 SYDホール  
来場者 125名 ※以下内訳

来賓(文部科学省)	1名
きらめきメッセージ全国コンクール審査委員	8名
SYDボランティア奨励賞(受賞者・関係者)	23名
きらめきメッセージ全国コンクール(発表者14名、引率応援23名)	30名
全国青年ボランティア・フェスティバル参加者	34名
青春パフォーマンス(日本体育大学チアリーディング部)	20名
一般(組織関係3名+青年部関係6名)	9名

### (4) SYD指導者資格認定制度

愛と汗の精神を理解し、自然体験活動や社会奉仕体験活動等を日常的に展開する指導者の養成を目的に実施する各種事業参加者に指導者資格証を発行するなど、SYD指導者資格認定制度の運用と充実を図った。

## 4. 青年組織育成活動

“愛と汗”の精神に基づいた自然体験・社会奉仕体験活動を年間を通して実践する青年部組織の育成・充実のため講師の派遣や活動資金の助成をした。

### (1) 青少年活動(キャンプ)担当者会議

開催日 5月3日(金・祝)～5日(日) <2泊3日>  
会場 ばんだいふれあいぴあ(福島県)  
講師 2名:三瓶利正、高牧康

スタッフ 4名：青木富造、中山貴生、板倉和也、谷野涉  
参加者 15名（各地キャンプ担当者）

## （2）関係機関・団体との協力（会議出席等）

〈別表-6〉

青少年の健全育成ならびに社会教育に寄与する活動の充実を図り、青少年教育及び社会教育の関係機関・諸団体との協力・連携を図ることを目的に、会議出席するなどの活動を行った。

# Ⅱ. 国際交流活動

## 1. 貧困と共に生きる子どもたちの支援活動（サポーティングプログラム）

フィリピンケソン市パヤタスのゴミ山で働く子どもたち（スカベンジャー）やマニラ市のストリートチルドレン（路上で生活する子どもたち）を訪問し、ボランティア活動・交流活動・支援活動の実践をとおして友好と相互理解を促進した。このことにより、自ら生きる意味を模索し、国際的視野を広げ、国際協力の精神を涵養し、国際協力における実践力を培い、学校や地域で活動する青少年指導者を育成することを目的に開催した。

### （1）青年ボランティア・アクションinフィリピン 《文部科学省後援》

期 日 8月20日(火)～26日(月) <6泊7日>  
訪問地 フィリピン(マニラ市、ケソン市、他)  
スタッフ 青木 富造、山口 千恵子  
参加者 32名（全国の満15歳以上の中学生、高校生、大学生等の青年）  
主な活動 ケソン市パヤタス、マニラ市ハッピーランド、サンマテヨ市を訪問し極貧の中で暮らす子どもたちを訪問し、交流・支援活動を行うとともに、ゴミ捨て場周辺で暮らす子どもたちとその家族を遊園地や動物園に招待するなどの活動を行った。

### （2）報告書「貧困と共に生きる子どもたちとー青年ボランティア・アクション in フィリピン」の作成・配布

部 数 500部  
体 裁 A4版64頁

### （3）「青年ボランティア・アクション in フィリピン」支援バッグの作成作業

期 日 8月15日(木) <1日>  
スタッフ 6名  
参加者 25名  
作成数 600個（文房具やTシャツなどを入れる）

## 2. ブラジルとの指導者交流事業

### （1）ブラジル指導者の招聘

ブラジル修養団の推薦する青年リーダー及び指導を招聘し、伊勢市での少女講習会やみかく講習会、福島県での子ども自然体験キャンプなど各種事業への参加や研修により、ブラジルで開催される少女講習会等で活躍するリーダー・指導者の養成を図った。

## ア. ブラジル青年リーダーの招聘

期 日 7月16日(火)～8月14日(水) <30日間>  
招 聘 者 砂原 アンドレ 誠志 (25歳・大学院正)  
成瀬 ラリッサ リカ (22歳・大学生)  
主な日程 本部研修、伊勢研修、ばんだいふれあいぴあ研修、都内視察ほか

## イ. ブラジル修養団講師の招聘

期 日 令和2年2月7日(金)～27日(木) <21日間>  
招 聘 者 渡辺 信男 エドワード (48歳・農業)  
主な日程 本部研修、伊勢研修、ばんだいふれあいぴあ研修、都内視察ほか

## (2) ブラジルへの指導者派遣

ブラジル修養団の要請に応じて指導者を派遣し、日伯文化協会等と連携しながら開催される少年少女講習会や教育講演会及びブラジル修養団青年指導者研修会等に従事した。

期 日 令和2年1月6日(月)～2月15日(土) <40日間>  
派 遣 先 ブラジル (サンパウロ、モジ、スザノ、マリンガ他)  
派 遣 者 中山貴生 (講師)  
主な活動 少年少女講習会、リーダー研修会、講演会等

開催日	講習・講演会名	参加者	スタッフ リーダー等	計
1/ 8	ブラジル修養団指導者研修会	10		10
1/10～12	モジ・ダス・クルーゼス少年少女講習会	148	60	208
1/17～19	スザノ少年少女講習会	156	60	216
1/19	スザノ講演会(保護者等)	8		8
1/21～23	アサイ少年少女講習会	132	21	153
1/24～26	マウア・ダ・セーハ少年少女講習会	48	17	65
1/26	マウア・ダ・セーハ座談会	10		10
1/28～30	パラナ青少年リーダー養成研修会	69	12	81
1/31～2/2	マリンガ修養林間学校(少年少女)	93	31	124
2/ 1	マリンガ講演会(保護者等)	50		50
2/ 8～ 9	モジ・ダス・クルーゼス青年の集い	40	15	55
2/11	ブラジル修養団指導者研修会	11		11
合 計	12回	775名	216名	991名

### Ⅲ. 講習会・講演活動

#### 1. 伊勢講習会 会場：伊勢青少年研修センター

##### (1) みがく講習会 (定例講習会)

〈別表-7〉

開催数 7回 <各3泊4日>

参加者 231名 (平均33名、定員各60名)

対象 企業の新入社員・中堅社員・幹部社員他

\*新型コロナウイルスの影響で第1205回(2月25日~27日)、第1206回(3月3日~6日)、第1207回(3月10日~13日)を中止とした。

##### (2) みがく特別講習会

〈別表-7〉

開催数 4回 <各1泊2日>

参加者 342名 (平均85名、定員各100名)

\*新型コロナウイルスの影響で第5回(3月14日~15日)を中止とした。

##### (3) 特別講習会

###### ア. 神嘗祭講習会

期 日 A:初穂曳コース:10月15日(火)~17日(木) <2泊3日>

B:神嘗祭コース:10月16日(水)~17日(木) <1泊2日>

参加者 A:62名 (定員50名)

B:28名 (定員50名) 計90名

対象 一般社会人

###### イ. 初詣新春の集い

期 日 令和2年1月11日(土)~12日(日) <1泊2日>

参加者 18名 (定員80名)

###### ウ. 天皇皇后両陛下奉迎特別講習会

期 日 11月21日(木)~22日(金) <1泊2日>

参加者 58名

##### (4) 受託講習会

〈別表-8〉

開催数 22回

参加者 1,208名

##### (5) 一般研修会

〈別表-9〉

開催数 12回

参加者 590名

##### (6) 講師派遣 (講演・講習活動)

〈別表-10〉

開催数 40回

参加者 4,821名

## 2. 関東・東北地区等講習会

### (1) 新入社員セミナー

期 日 4月10日(水)～12日(金) <2泊3日>  
会 場 レイクサイド磐光(福島県)  
参 加 者 60名  
講 師 等 白石高司、木下茂美、山崎一紀、根岸秋吉、志村和也、板倉和也

### (2) リフレッシュセミナー

期 日 令和2年2月5日(水)～7日(金) <2泊3日>  
会 場 レイクサイドみなとや(福島県)  
参 加 者 10名  
講 師 等 鈴木義信、山崎一紀、根岸秋吉、志村和也

### (3) 受託セミナー

〈別表-11〉

#### ア. 新入社員セミナー

- ① 1日コース  
開催数 1回  
参加者 100名
- ② 1泊2日コース  
開催数 4回  
参加者 327名  
\*新型コロナウイルスの影響で5回中止
- ③ 2泊3日コース  
開催数 3回  
参加者 116名

#### イ. ブラインドウォークセミナー

- ① 半日コース  
開催数 2回  
参加者 179名

#### ウ. パート社員セミナー

- ① 1日コース  
開催数 9回  
参加者 561名

#### エ. 一般社員セミナー等

- ① 1日コース  
開催数 6回  
参加者 150名
- ② 1泊2日コース  
開催数 10回  
参加者 456名

#### オ. 講演会

- 開催数 6回  
参加者 156名

## 2. 企業・組織訪問

講演会・講習会の参加者募集や実施及び団運動の拡大を目的として企業及び組織を訪問した。

期 日	訪問地域	訪問社数	訪問者
9月18日(水) ～20日(金)	北陸地区(福井県・富山県・石川県)、 近畿地区(京都府)、中部地区(岐阜県)	10社	根岸
10月10日(木) ～11日(金)	茨城県下	10社	根岸
10月15日(火)	福島県いわき市 茨城県日立市	3社	根岸
11月13日(水) ～15日(金)	栃木県下、福島県下	18社	根岸・志村
11月28日(木)	福島県下	5社	根岸・志村
合 計	5回	46社	

### 【集計表】連合会・クラブ、企業・団体等「主催講習会・講演会」〈別表-12〉

#### (1) 講習会

開催数 68回  
参加者 3,594名

#### (2) 講演会

開催数 48回  
参加者 4,922名

## IV. 家庭教育活動

### 1. 家庭《共育》セミナー

親や大人が子どもと共に育ち、家庭や学校・地域、関係団体等が連携・協力して共に子どもや青少年を育てるためのセミナーを開催した。プログラムは、“地域の特色を活かし” “楽しい子育て” をコンセプトに、実施地域の実情に添って実施した。

開催日	開催地	会 場	実施団体	参加者数	講師
11月16日(土)	福島県 郡山市	小山田幼稚園	小山田幼稚園 協力：修養団福島県連合会	160名	青木富造
2月20日(木)	福島県 田村市	船引公民館	修養団たむら 協力：修養団福島県連合会	29名	宝井琴鶴 志村和也
2月23日(日・祝)	香川県 高松市	香川県 教育会館	修養団香川県連合会	53名	高牧 康 久世郁夫
3月 5日(木)	埼玉県 東松山市	箭弓稻荷神社	修養団東松山向上会 協力：修養団埼玉県連合会	新型コロナウイルスの影響 で中止	
3月 8日(日)	広島県 坂町	小屋浦ふれあ いセンター	修養団広島県連合会	新型コロナウイルスの影響 で中止	
3月22日(日)	岐阜県 大垣市	大村公民館	修養団岐阜県連合会青年 部灯会	17名	藤松泰道 志村和也
合計	4回			259名	

## V. 会員・組織活動

### 1. 「幸せの種まき運動」の推進

会員及び会員組織と連携を図るとともに、諸団体にも呼びかけ、「愛と汗」を基本に下記事業を展開し、心ひとつにして「幸せの種まき運動」の推進を図った。

#### (1) 愛汗実践塾

「愛と汗」を基本とした修養団の理念を学び、「幸せの種まき」を実践するための意識を高める機会として、連合会・クラブを実施団体とし研修会形式を用いて各地で開催した。あわせて会員組織の活性化や後継者育成、会員拡大を図った。

開催日	開催地	会場	実施団体	参加者数	講師
10月16日(水)	福島県 北塩原村	グループホーム さくら	修養団愛汗喜多方 修養団福島県連合会 協力：修養団山都愛汗の会 後援：医療法人佐原病院、喜 多方市倫理法人会、福島民報 社、福島民友新聞社、ほっ と・ねっと社	18名	久世郁夫 志村和也
11月2日(土)	新潟県 上越市	オーレンプラザ	修養団上越 修養団新潟県連合会 後援：上越市教育委員会 協賛：高田東ロータリーク ラブ	12名	山崎一紀 志村和也
12月1日(日)	三重県 伊勢市	伊勢青少年研 修センター	修養団伊勢向上会 修養団岐阜県連合会青年 部灯会 修養団伊勢いなほの会	31名	岡村精二 保坂正志
12月7日(日)	山口県 宇部市	森と海の学校	修養団宇部市連合会	13名	岡村精二 志村和也
合計		4回		74名	

#### (2) 第11回「チャリティー演芸会」笑えば梅雨明け！の巻

—ストリートチルドレン支援—

期日 6月21日(金) 18時30分～20時30分

会場 SYDホール

出演者 立川らく次、立川志らべ、春風亭びっかり☆、立川只四楼

参加者 86名

係員 7名(ボランティア・職員)

※収益金173,256円を「幸せの種まき献金」へ繰り入れた。

#### (3) 第3回「『東京ベルズ』ハッピーヴォイスチャリティーコンサート」

—ストリートチルドレン支援—

NPO法人「東京ベルズ」のメンバーによるチャリティーコンサートがおこなわれ、16曲が披露されたほか、SYDが実施しているフィリピンでの支援活動を映像を交えて紹介した。

期日 10月18日(金) 18時30分～20時30分

会 場 SYDホール  
 参加者 112名  
 出演者 高牧康、御幸りか、花岡るみ、古谷万理子、白瀬恵、松本久志、古葉映、ラジアン円  
 (伴奏・アンサンブル) 江尻弘子、石川武、鵜飼ひろみ  
 ※収益金791,096円を「幸せの種まき献金」へ繰り入れた。

#### (4) 「幸せの種まき祭り」ーストリートチルドレン・災害被災者支援ー

S Y D本部近隣の小学校や各種団体にも呼び掛け「幸せの種まき祭り」として開催した。バザー品の販売やトークショー、ゲームコーナーのほか、綿菓子やポップコーンの販売、餅つきなどをおこないお祭りの雰囲気盛り上げ、さらにS Y D青年部による夏期事業の写真展示も実施。まちネット千修会のメンバーや青年リーダー、会員の方々39名がボランティアとして参加した。また、福島県から修養団山都愛汗の会の会員9名、野菜提供に協力くださった修養団嵐山町連合会、修養団東松山向上会、修養団八和田親和会から38名が来場した。

期 日 11月9日(土) 12時～14時  
 会 場 SYDビルエントランスホール及びSYDホールなど  
 参加者 400名(近隣住民および会員など)  
 ※収益金300,279円を「幸せの種まき献金」へ繰り入れた。

## 2. 会員組織活動への支援など

### (1) 第8回「全国修養団運動推進会議」

期 日 6月8日(土) 13時～17時30分  
 会 場 SYDホール  
 出席者 65名  
 主なクラブ・連合会の代表者またはそれに準ずる人 37名  
 オブザーバー 4名  
 役職員 24名  
 内容等 平成30年度事業報告及び2019(平成31)年度事業計画の概要について説明をおこなった。続いて、会員組織活動活性化のために参加者全員5つの分科会(「自然体験活動」「週末体験活動」「家庭教育活動」「組織活動活性化」「幸せの種をまく日常活動等」)に分かれ、新しい協議方法である「予祝」を用いて熱心に協議した。終了後、各分科会から報告があった。

### (2) 講師・役職員の派遣

クラブ・連合会の総会や諸活動に講師・役職員を派遣した。回数:13回

\*下記は、開催日、事業名、参加者数、会場、派遣者名の順

5/19	修養団広島県連合会「総会」	18名(坂町・特別養護老人ホームたかね荘こやうら)	【根岸】
5/25	S Y Dボランティア友の会「第12回総会」	8名(東京都渋谷区・S Y D会議室)	【山崎一】
6/8	修養団よよぎっこ倶楽部「笑顔のつどい」	25名(東京都渋谷区・福臨門)	【山崎一、久世ほか】
6/14	修養団愛汗喜多方「令和元年度総会」	17名(喜多方市・厚生会館)	【山崎一】
6/16	修養団鹿児島県連合会「令和元年度定期総会・講演」		

- |                  |  |             |
|------------------|--|-------------|
|                  | 11名（鹿児島市・加治屋町町民館）                                | 【久世】        |
| 6/19             | 修養団山都愛汗の会「令和元年度定期総会」                             |             |
|                  | 13名（喜多方市・山都開発センター）                               | 【根岸】        |
| 6/29             | 修養団愛汗郡山「第14回定例総会・理事会」                            |             |
|                  | 7名（郡山市・ベルヴィ郡山館）                                  | 【久世】        |
| 7/5              | 修養団神奈川県連合会「第38回定期総会」                             |             |
|                  | 9名（横浜市・日立システムズはせがわビル）                            | 【久世】        |
| 7/17             | 修養団福島県連合会「令和元年度理事会・総会」                           |             |
|                  | 21名（郡山市・ベルヴィ郡山館）                                 | 【山崎一、根岸、志村】 |
| 7/26             | 修養団日立システムズ五十鈴会「第31回定期総会」                         |             |
|                  | 10名（東京都・日立システムズ日本橋オフィス）                          | 【久世、保坂】     |
| 11/2             | 修養団新潟県連合会「役員研修会」                                 |             |
| ～3               | 9名（上越市・牧湯の里 深山荘）                                 | 【山崎一、志村】    |
| 12/8             | 修養団宇部市連合会「第49回宇部市街頭美化清掃」                         |             |
|                  | 450名（山口県宇部市）                                     | 【志村】        |
| 2/23             | 「天皇誕生日奉祝～皇居参賀の集い」                                |             |
|                  | 主催：皇居参賀の集い実行委員会<千葉県・神奈川県・東京都各連合会><br>(担当：千葉県連合会) |             |
| ※新型コロナウイルスの影響で中止 |  |             |
| 2/26             | 修養団沖縄がじまる会、SYDボランティア友の会                          |             |
| ～3/3             | 「第33回沖縄戦遺骨収集ボランティア」                              |             |
|                  | 44名（沖縄県糸満市・山雨の塔ほか）                               | 【真下】        |

### （3）喜多方市教育委員会「人づくりの指針講師派遣事業」等への支援

要請により、講師を派遣した。

- |        |                                |      |
|--------|--------------------------------|------|
| 10月25日 | 『蓮沼門三翁の教え』学習講演会                |      |
|        | 19名（喜多方市堂島小学校）                 | 【久世】 |
| 10月26日 | 『ふるさとの偉人に学ぶ』講演会                |      |
|        | 50名（福島県・喜多方市山都体育館）主催：喜多方市山都公民館 | 【久世】 |

### （4）「修養団創立114周年を祝う集い」への支援

千葉県(担当連合会)・神奈川県・東京都各連合会の合同主催で実施され、その支援をおこなった。

- |     |  |  |
|-----|--|--|
| 期 日 | 2月11日（祝・火）   |  |
| 会 場 | SYDホール   |  |
| 内 容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・蓮沼門三先生墓参（青山墓地） *参列者30名（役職員5名含む）</li> <li>・記念式 *参加者62名（役職員16名含む）</li> <li style="padding-left: 2em;">修養団年次功労者表彰（関東地区）</li> <li style="padding-left: 2em;">記念講演「蓮沼門三の願い」講師：山崎一紀主幹</li> <li>・祝賀会 *参加者58名（役職員16名含む）</li> </ul> |  |

### （5）活動助成金の支出

クラブ・連合会の活動の拡充と活性化を図ることを目的とし、修養団のクラブ・連合会がおこなう活動に助成金各3万円を交付した。

- |      |                          |
|------|--------------------------|
| 9/3  | 修養団鹿児島県連合会「創立100周年記念誌」作成 |
| 9/17 | SYDいばらき「ユースリーダーズキャンプ」    |

(9月27日～28日開催・参加者30名)  
 3/31 修養団伊勢いなほの会会報「たわわ(第12号)」発行

### (6) 諸団体との連携

5/29	千修会「理事会」 6名(東京都渋谷区・SYD会議室)	【保坂】
6/20	千修会「令和元年度定期総会」 10名(東京都渋谷区・SYD会議室)	【保坂】
10/11	千修会「秋休みバスツアー」 31名(東京都足立区、千葉県柏市・野田市)	【志村】
12/9	千修会「理事会」 6名(東京都渋谷区・SYD会議室)	【根岸】

## 3. 会員状況と会員組織

諸事業において会員申込案内パンフレットを配布した。また、機関誌等によって会員拡大を呼びかけるとともに、クラブ・連合会には、特に夏期事業等を通じての会員加入促進をお願いした。

### (1) 会員の現状

〈別表-13〉

会員種別	当年度(R2.3.31現在)	前年度(H31.3.31現在)	増減
ふれあい会員	455	393	62
愛会員	479	521	△42
向上会員	1,326	1,605	△279
永生会員	10,728	10,728	0
合計	12,988	13,247	△259

### (2) 後援会会員の現状

会員種別	当年度(R2.3.31現在)	前年度(H31.3.31現在)	増減
法人会員	97	98	△1
個人会員	135	138	△3
合計	232	236	△4

## 4. SYD将来計画プロジェクト「令和」

9月1日に職員4名で構成、スタート。10年後、20年後の社会を予測した上での今後のSYDの在り方(運動展開等)について8回検討した。令和2年8月末まで引き続き検討することとしている。

### (1) 構成員

アドバイザー	真下淳一(総務部担当部長)
リーダー	志村和也(社会教育部、講師)
メンバー(事務局)	古城門奈津(社会教育部)
メンバー	増田航(青年部、講師研修生)

### (2) 開催日

9月18日、10月10日、10月31日、11月21日、12月17日、  
 令和2年1月30日、2月19日、3月11日

### (3) その他

12月10日、志村リーダーと真下アドバイザーが伊勢青少年研修センターへ赴き、職員との意見交換を行った。

## VI. 幸せの種まき献金活動

### 1. 募金活動

会員組織、会員及び「幸せの種まきキャンペーン《出前講座》」実施校などを通じて募金活動をおこなった。引き続き東日本大震災被災者支援について呼びかけるとともに、9月の台風15号、10月の台風19号に対する災害に対しても支援を呼びかけた。

(単位：円)

		31年4月	令和元年5月	6月	7月	8月	9月	
<b>月計金額</b>		<b>171,808</b>	<b>214,297</b>	<b>340,523</b>	<b>4,456,9</b>	<b>999,499</b>	<b>179,428</b>	
《一般献金》		113,897	123,138	298,213	79,517	615,040	41,968	
《指定献金》		57,911	91,159	42,310	335,052	384,459	137,460	
指定 献金 内訳	東日本大震災被災者支援	0	23,504	0	12,962	10,000	53,360	
	台風災害被災者支援	0	0	0	0	0	30,000	
	フィリピン	子ども学資支援	18,000	18,000	18,000	90,000	78,000	36,000
		大学生学資支援	6,272	4,100	10,310	198,090	252,000	4,100
		学校支援	33,639	45,555	14,000	34,000	44,459	14,000

		10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	
<b>月計金額</b>		<b>1,406,473</b>	<b>788,084</b>	<b>626,325</b>	<b>169,713</b>	<b>109,497</b>	<b>211,372</b>	
《一般献金》		925,661	469,811	193,137	57,213	28,487	141,272	
《指定献金》		480,812	318,273	433,188	112,500	81,010	70,100	
指定 献金 内訳	東日本大震災被災者支援	0	0	0	12,000	0	0	
	台風災害被災者支援	159,099	18,000	20,000	0	0	0	
	フィリピン	子ども学資支援	234,000	144,000	108,000	54,000	36,000	54,000
		大学生学資支援	0	38,300	62,917	0	21,010	2,100
		学校支援	87,713	117,973	242,271	46,500	24,000	14,000

		今年度合計		前年度合計		
<b>年間合計金額</b>		<b>5,631,588</b>	<b>(258件)</b>	<b>6,787,023</b>	<b>(293件)</b>	
《一般献金》		3,087,354	(121件)			
《指定献金》		2,544,234	(137件)			
指定 献金 内訳	東日本大震災被災者支援	111,826	(6件)			
	台風災害被災者支援	227,099	(21件)			
	フィリピン	子ども学資支援	888,000	(47件)		
		大学生学資支援	599,199	(27件)		
		学校支援	718,110	(36件)		

## 2. 支援活動

海外のストリートチルドレン支援として、フィリピンの子供47名と大学生4名の学資支援及び子供たちが学ぶ学校への支援をおこない、ブラジルの施設も支援した。また、9月の台風15号、10月の台風19号で特に被害の大きかった地域への支援をおこなった。

### 〈東日本大震災被災者支援〉

(※=全て指定献金/ \*\*=一部指定献金)

- ・「SYD東日本大震災被災地訪問青少年ふれあいボランティア」  
活動経費(5回分、食材費) 311,382 円\*\*

### 〈その他の災害被災者支援〉

- ・千葉県：「SYD千葉県災害ボランティア」活動経費(2回分) 86,957 円※
- ・福島県：「SYD台風19号災害ボランティア」活動経費(ガソリン代) 24,297 円
- ・福島県いわき市：令和元年台風災害義援金(いわき市災害対策本部) 100,000 円\*\*
- ・埼玉県東松山市：令和元年台風災害義援金(東松山市市民課)  
※修養団東松山向上会・岡部宣子会長・栗原文子さん、根岸常務理事が持参 100,000 円\*\*  
令和元年台風災害義援金
- ・千葉県南房総市：(社会福祉法人南房総市社会福祉協議会) 100,000 円\*\*  
※修養団千葉県連合会・前田和弘副理事長が持参

### 〈ストリートチルドレン支援〉

- ・フィリピン：ストリートチルドレン(学用品プレゼント、遠足招待等)  
(ボランティア・アクションinフィリピン) 700,000 円
- ・フィリピン：子ども(幼稚園～高校生)学資支援(スカベンジャー・47名) 846,000 円※
- ・フィリピン：大学生学資支援(スカベンジャー・4名) 720,000 円\*\*
- ・フィリピン：「パンガラップ・ラーニング・スクール」  
(学校運営支援・10万円×12ヵ月) 1,200,000 円\*\*
- ・フィリピン：「マザー・テレサの家」(支援品) 35,505 円
- ・ブラジル：「コロニア・ベネーザ」(教育支援金) 70,000 円

### 〈福祉施設・団体支援〉

- ・福島県：介護老人福祉施設「北原荘」 30,000 円
- ・福島県：介護老人保健施設「天心ケアハイツ」 30,000 円
- ・福島県：山都デイサービスセンター「しゃくなげホーム」 30,000 円

合 計 4,384,141 円

前年度合計 5,401,698 円

## 3. 幸せの種まき献金委員会

### (1) 幸せの種まき献金委員会の開催

以下のように定期的に開催し、活動の充実・推進について協議した。

平成31年 4月15日、5月13日、6月13日、7月10日、9月10日、  
(令和元年) 10月9日、11月8日、12月9日  
令和2年 1月9日、2月13日、3月6日

## (2) チャリティーツアーの開催

5月19日(日)に「いちご狩りツアー(山梨)」を実施、参加者29名(乳幼児・子ども含む)と心の参加者2名により44,359円の献金を受けた。

## (3) 報告書の作成・配布

平成30年度活動報告書(1,200部)を発行し、クラブ・連合会、募金して下さった方々などに送付した。

## 公益3

# VII. 出版・広報活動

## 1. 機関誌「向上」「愛」の発行

### (1) 「向上」

号	発行部数	随想テーマ
4月号	2,600	力が湧く
5月号	2,600	働く
6月号	2,700	ふれあいの種
7月号	2,200	違いがあるから
8月号	2,200	成長する時
9月号	2,200	思いやりの種
10月号	2,400	考える
11月号	2,500	続けること
12月号	2,600	よろこびの種
1月号	2,700	始める
2月号	2,900	伝える
3月号	2,500	出会い
合計	30,100部	(前年度31,000部)

### (2) 「愛」

号	発行部数	備考
4月号	1,400	
5月号	1,100	
6月号	1,200	
7月号	1,500	「ふれあい特集号」395部含む
8月号	1,100	
9月号	1,100	
10月号	1,400	
11月号	1,800	「ふれあい特集号」407部含む
12月号	1,400	
1月号	1,500	
2月号	1,700	
3月号	1,700	「ふれあい特集号」458部含む
合計	16,900部	(前年度16,800部)

## 2. 平成2年版「日々の力」の制作・販売

### (1) 制作

題名 「幸せの足音」  
作者 〈絵と文字〉落合勲（書家）  
内容 明るく元気な職場づくり、心温まる家庭づくりのために心がけたいこと、実行したいことを31日分の言葉にまとめ、絵手紙風の絵を添えて制作した。  
体裁 日めくり式短冊形・33枚、カラー刷り  
印刷部数 16,500部(宣伝用含む)  
第1回納品－7月12日、第2回納品－9月5日

### (2) 販売

ダイレクト・メールや「向上」誌等で会員や「日々の力」愛好者への普及に努めるとともに、会社・団体の年末年始贈答品としての利用を呼びかけた。

区分	件数	部数
SYDオリジナル	67	2,232
予定表付	28	206
無地	32	625
注文名入れ印刷	51	11,040
合計	178件	14,103部
前年度合計	179件	14,033部

※ 8月28日～31日

養養団新潟県連合会の協力を得て新潟県下10社を販売促進活動で訪問【保坂】

## 3. 教育図書の普及、教材の販売

『蓮沼門三の言葉110』、『人生のことば365日』、『蓮沼門三物語』などの図書、研修教材の『人生ガイドー研心』などを普及・販売した。

## 4. 「SYDかわらばん〈最新活動情報〉」の発行・送付

SYD事業や会員組織活動の最新情報を届けることを目的に、毎月20日頃(8月を除く)に各1,100部(4頁～6頁)を発行し(NO. 128～138)、クラブ・連合会・評議員等へ送付するとともに、事業参加者等に手渡し配布した。

また、その全記事をSYDホームページ「webかわらばん」で紹介した。

## 5. 広報活動

### (1) ホームページの充実

SYD事業の予定や報告、参加者募集の呼びかけ、さらに、SYDの理解を深めてもらうための各種情報を発信した。

公益4・収益1

## VIII. 施設運営事業

### 1. 伊勢青少年研修センター

〈別表-14〉

#### (1) 利用状況

### ア. 主催講習会

回数 18回 (前年度19回)  
利用者数 939名 (前年度1,312名)

### イ. 受託講習会

回数 26回 (前年度23回)  
利用者数 1,551名 (前年度1,334名)

### ウ. 一般研修会

回数 12回 (前年度18回)  
利用者数 590名 (前年度984名)

※ア+イ+ウ=56回、3,080名 (前年度60回、3,630名)

## 2. ばんだいふれあいびあ

### (1) 利用状況

〈別表-15〉

利用回数 27回 (前年度33回)  
利用者数 592名 (前年度791名)  
延べ利用者数 1,781名 (前年度2,233名)

### (2) 施設整備等

回数	期 日	スタッフ 参加者	備 考
1	7月 8日(月)～11日(火)	谷野渉 増田航介	キャンプ場とテントの整備
2	8月11日(日)～12日(月)	板倉和也、増田航介 他参加者7名	キャンプ場とテントの整備

### (3) その他

関係先への新年挨拶 (喜多方市役所、北塩原村役場など13か所) を久世・佐藤でおこなった。

期日 令和2年1月20日(月)～21日(火)

## 3. 修養団SYDビル

### (1) SYDホールおよび会議室の貸出状況

\*新型コロナウイルスの影響により、2～3月の期間でホール利用21回、SYD会議室利用5回のキャンセルがあった。

#### ア. SYDホール

回数 157回 (前年度168回)  
利用者数 24,210名 (前年度23,150名)

#### イ. SYD会議室(16階)

回数 57回 (前年度50回)  
利用者数 1,140名 (前年度990名)

### (2) 施設の整備等

SYDホール利用者に快適なオフィス環境の提供や利用促進を行うため、以下の整備等をおこなった。

- ・ホール補助熱源メンテナンス工事 (4月)

- ・ホール可動壁扉補修工事（7月）
- ・ホール和室畳張替え（7月）
- ・ホール外階段石材洗浄（8月）
- ・会議室天井漏水補修工事（9月）
- ・ホール内壁・入口扉取っ手、会議室机補修工事（10月）
- ・ホール白熱灯電球交換（12月）
- ・ホール空調機加湿電磁弁交換工事（12月）
- ・ホール等トイレ設備修繕工事（令和2年1月）
- ・ホール外階段上部照明器具交換工事（令和2年2月）

#### 4. 関西会館

テナント（1階、2階部分）の適正管理をおこなった。

### その他

## IX. 関係機関・団体との協力活動

### 1. 関係機関・団体への委員等の就任

- |                  |     |      |
|------------------|-----|------|
| ・社会教育団体振興協議会     | 会 長 | 御手洗康 |
| 〃                | 幹 事 | 久世郁夫 |
| ・(独) 国立青少年教育振興機構 |     |      |
| ミクロネシア事業総合評価委員会  | 委 員 | 久世郁夫 |

### 2. 諸会議等への出席

#### (1) 社会教育団体振興協議会

##### ア. 第1回幹事会

開催日 5月10日(金)  
 会 場 パナソニック教育財団会議室  
 出席者 8名【御手洗康、久世郁夫】

##### イ. 第2回幹事会

開催日 11月18日(木)  
 会 場 日本青年館  
 出席者 11名【御手洗康、久世郁夫】

##### ウ. 「平成31年度総会」「特別記念講演」

開催日 7月3日(水)  
 会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター  
 出席者 25名・50名【御手洗康、久世郁夫、\*保坂正志、\*谷野渉、\*増田航介】  
 \*印=特別記念講演参加

##### エ. 第48回社会教育関係者懇親の集い

\*中央青少年団体連絡協議会代表世話人会と合同実施  
 開催日 令和2年1月9日(木)  
 会 場 日本青年館  
 出席者 114名【御手洗康、久世郁夫、真下淳一】

## オ. 社会教育の推進に関する意見交換会

\* 中央青少年団体連絡協議会代表世話人会と合同実施

開催日 令和2年1月9日(木)

会 場 日本青年館

出席者 50名【御手洗康、久世郁夫】

## (2) 体験の風をおこそう運動「企画推進チーム会議」

開催日 5月31日(金)

会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター

出席者 22名【久世郁夫】

## (3) ミクロネシア諸島自然体験交流事業「総合評価委員会」

開催日 4月10日(水)

会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター

出席者 7名【久世郁夫】

# X. 表 彰

## 1. 第14回SYDボランティア奨励賞

### (1) 募集活動

募集パンフレット18,000部を作成し、《出前講座》開催校、全国の中・高・学校へ送付すると共に、関連団体、全国の県・市教育委員会等へ広報依頼をしたところ、全国36都道府県から79件の応募があった。

### (2) 選考委員会の開催と受賞団体

開催日 12月18日(水) 11時~13時

会 場 SYD会議室

出席者 選考委員 7名

鈴木 優子 (前〔学〕立教女子学院理事・法人事務局長)

仲野 好重 (一般財団法人人間塾代表理事)

長沼 豊 (学習院大学教授)

松澤 宏尚 (全日本中学校長会事務局長)

御手洗 康 (修養団理事長)

山崎 一紀 (修養団主幹)

青木 富造 (修養団常務理事)

《欠席委員 2名》

明石 要一 (千葉大学名誉教授、千葉敬愛短期大学学長)

山田 一功 (社団法人ひかりの里理事長、公益社団法人日本PTA全国協議会元副会長)

職 員 3名

岩佐加寿子、真下淳一、山口千恵子

**文部科学大臣賞** 1点

島根県立大学 献血サークル あかえんぴつくん (島根県)

**優 秀 賞** 2点

【小・中学生の部】稲城二中シンガーズ (東京都)

【高 校 生 の 部】名古屋市立工芸高等学校 防災チーム (愛知県)

【大学・一般の部】該当なし

**特 別 賞** 2点

復興支援東北の物産販売 高校生プロジェクト in 岩見沢 (北海道)

宮城県農業投稿学校 次世代の被災地語り部ボランティア (宮城県)

### (3) 贈呈式 \* 「全国青年ボランティア・フェスティバル」の中で開催

開催日 令和2年2月23日(日) 14時30分～15時50分

会 場 SYDホール

出席者 125名(受賞関係者23名、来賓1名、全国青少年ボランティア・フェスティバル参加者34名、きらめきメッセージ全国コンクール(審査員含む)38名、青春パフォーマンス出演者1団体20名、一般9名)

内 容 文部科学省総合教育政策局地域学習推進課青少年教育室の平川康弘室長より来賓祝辞と文部科学大臣賞・副賞の贈呈、選考委員の山崎主幹より選考経過を報告、御手洗理事長から優秀賞と特別賞の贈呈、その後各賞受賞者からの活動発表がおこなわれた。

## 2. 令和元年度功労者表彰

(敬称略)

【名誉団員】 池田 邦彦(神奈川県)、追贈：佐藤 文平(福島県)

【特別賞】 蓮沼賞：丹羽 秀樹(岐阜県)

【表彰】 個人： 3名

【感謝状】 個人：15名 団体：4団体

## XI. 諸会議の開催等

### 1. 評議員選定委員会

期 日 4月22日(月)

会 場 SYD会議室

出席者 7名

委員5名 一外部委員：上村忠男・山本信也、評議員：漆原幸保、監事：  
板垣和彦、事務局員：真下淳一

修養団2名一御手洗康理事長、久世郁夫専務理事

議 題 ア. 評議員の選定について

### 2. 理事会

#### (1) 第1回理事会

期 日 5月21日(火)

会 場 SYD会議室

出席者 理事：9名、監事：2名、主幹：1名  
欠席者 理事：4名  
議 題 ア. 平成30年度事業報告について  
イ. 平成30年度収支決算について  
ウ. 令和元年度上期慰労手当の支給について

## (2) 第2回理事会

期 日 12月20日(金)  
会 場 SYD会議室  
出席者 理事：10名、監事：2名、主幹：1名  
欠席者 理事：3名  
議 題 ア. 令和2年度基本方針・事業計画大綱について  
イ. 令和2年度予算大綱について

## (3) 第3回理事会

期 日 令和2年3月23日(月)  
会 場 SYD会議室  
出席者 理事：11名、監事：2名、主幹：1名  
欠席者 理事：2名  
議 題 ア. 令和2年度事業計画について  
イ. 令和2年度収支予算について  
ウ. 定時評議員会の招集について

### ※事業経過報告書と収支月報の送付

9月20日付けで4～8月までの「事業経過報告書」と「収支月報」を理事・監事・評議員に送付した。

## 3. 第9回評議員会

期 日 6月7日(金)  
会 場 SYD会議室  
出席評議員 7名 欠席評議員 6名  
議 題 ア. 平成30年度事業報告並びに収支決算について  
イ. 2019(平成31)年度事業計画並びに収支予算について  
ウ. 令和2年度事業計画への要望について

## 4. 後援会役員会

期 日 6月12日(水)  
会 場 SYD会議室  
出席者 6名(常任幹事：5名、監事：1名)  
役 職 員 5名

## 5. 弔事

### (1) 物故団員・同志ご芳名

埼玉県	金谷 敏郎 殿	4月18日	修養団参与
静岡県	松下 昭 殿	5月19日	元修養団静岡県連合会会長
東京都	菅野 之久 殿	6月15日	永生団員
福島県	佐藤 文平 殿	11月10日	前修養団福島県連合会副会長

鹿児島県 上村 アツ 殿 11月30日 元修養団鹿児島県連合会役員  
北海道 菊池 広 殿 令和2年1月 8日 SYD修養団端野会会員

## (2) 物故同志慰霊の集い

7月12日(金)、SYDビル会員ルームにおいて、物故された恩人・先輩・永生会員・同志の慰霊祭を山崎主幹はじめ本部役職員により執り行った。

## 6. その他

- 4月24日 マイクロバス納車
- 6月20日 在団理事会
- 7月 8日 上期慰労手当支給
- 10月 9日 在団理事会
- 12月 4日 下期慰労手当支給
- 2月18日 在団理事会
- 3月12・13日 渋谷税務署による所得税関係法定監査

令和元年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和2年3月

公益財団法人 修 養 団

# 後援会活動報告

令和元年度後援会活動は、6月12日の後援会役員会において決定された事業計画に基づき、募金目標額は12,000,000円の達成をめざして6月中旬より活動を開始した。

三菱グループ、三井グループ、住友グループ、日本製鉄、宇部興産、フジタ、キッコーマン、北越コーポレーション、東芝等々法人会員97社、個人会員135名の方々の深いご理解と温かいご支援により、10,450,000円の会費収入を得る事ができた。

なお、会費収入のうち経費を除いた金額10,075,303円を後援会の助成対象事業である「青少年の健全育成」「家庭教育の推進」「社会教育指導者の育成」の3事業支援のために修養団へ繰り入れた。

## 1. 会員移動状況

(敬称略)

(1) 新入会員〈個人会員：6名〉

(茨城県) 根子 清 (群馬県) 真下喜久江 (東京都) 高野 泉、薮田 秀子  
(広島県) 寺尾 敏幸 (大分県) 小野 日隆

(2) 逝去会員〈個人会員2名〉

(北海道) 菊池 広 (広島県) 直井 和子

(3) 退会会員〈法人会員1社、個人会員5名〉

(福島県) 幸楽苑  
(北海道) 増田えつ (埼玉県) 中曽根語郎 (千葉県) 安田 敬一、安田 博亮  
(香川県) 谷本 豊子

## 2. 募金活動

(1) 募金目標・募金実績 (単位・円)

〈募金目標〉		〈募金実績〉	
法人会費	10,000,000円	法人会費	9,060,000円
個人会費	2,000,000円	個人会費	1,390,000円
合計	12,000,000円	合計	10,450,000円

(2) 募金方法

ア. 文書活動

6月12日の後援会役員会で承諾された事業計画にもとづき、6月下旬より募金活動を開始。令和元年度会費納入のお願い書を法人、個人会員宛発送した。

イ. 訪問活動

6月下旬より関東地区法人会員各社を訪問し、平素のご支援の御礼と引き続きご協力をお願いをした。

## 3. 広報活動

(1) 修養団機関誌『向上』6月号に平成30年度の後援会会員名簿を掲載、協力の御礼と感謝の意を表すると共に令和元年度のお願いをした。

(2) 『向上』(令和元年5月号より1年間)及び令和2年度版「日々の力」を法人、個人各会員に贈呈した。

## 4. 会 議

### (1) 役員会

期 日 6月12日(水) 11時～13時

会 場 SYD会議室

出席者 常任幹事 伊与部恒雄、板垣和彦、北原 央、守屋邦晴、山口洋二

監 事 芳賀 律 (新海一正監事代理)

修養団 御手洗康、山崎一紀、久世郁夫、根岸秋吉、岩佐加寿子

### 議 事

ア. 平成30年度後援会事業報告並びに収支報告及び監査報告について

イ. 2019 (平成31) 年度後援会事業計画(案)及び収支予算(案)について

ウ. 平成30年度修養団主要事業報告並びに2019 (平成31) 年度修養団主要事業計画について

エ. その他

## 5. 収支報告 (4月1日～令和2年3月31日)

(単位:円)

貸方(支出)	科目	借方(収入)	前年度(収入)
	会費収入(法人)	9,060,000 (97社)	9,170,000 (98社)
	〃 (個人)	1,390,000 (135名)	1,450,000 (144名)
	その他の収入		
10,075,303	修養団後援金		
10,780	旅 費		
8,800	印 刷 費		
82,325	通 信 運 搬 費		
223,860	消 耗 品 費		
30,240	会 議 費		
18,692	雑 費		
10,450,000	合 計	10,450,000	10,620,000